

生活学校申込案内

開催期間 2019年
7月25日(木)~7月27日(土)

参加資格 中学1年生~3年生

参加費用 12,000円 (交通費別)

服装 Tシャツ、ジャージ、運動靴等
(動きやすいもの・汚れてもよいもの)
※農作業もするので、半ズボンは好ましくありません。

宿泊 愛農高校の宿泊施設

アクセス 電車 近鉄青山町駅下車 徒歩15分
(当日駅からの送迎あり)
車 名阪国道上野東IC下車
国道422号を南へ約20分(地図を参照)

申込〆切 7月8日(月)まで

※定員になり次第お断りすることもあります。
※キャンセルは7月18日(木)まで。
※その他、お気軽にお問い合わせください。

生活学校プログラム(予定)

	7月25日(木)	7月26日(金)	7月27日(土)
午前	開校式 講話① 「大切な食べ物 の話」	農に親しむ (1日目) 講話② 「農業について の話」	農に親しむ (2日目) 講話③ 「生命の大切さ についての話」
		体験コーナー ・くぼものてし菓子作り ・やさいケーキ作り ・おもちゃつき ・牛乳アイス作り ・にわとりの解体 ・バーコンピザ作り (2018年度例)	開校式
午後	お楽しみタイム あいのう紹介	キャンプ ファイヤー	

※プログラムは変更になる場合があります

愛農学園 夏期生活学校

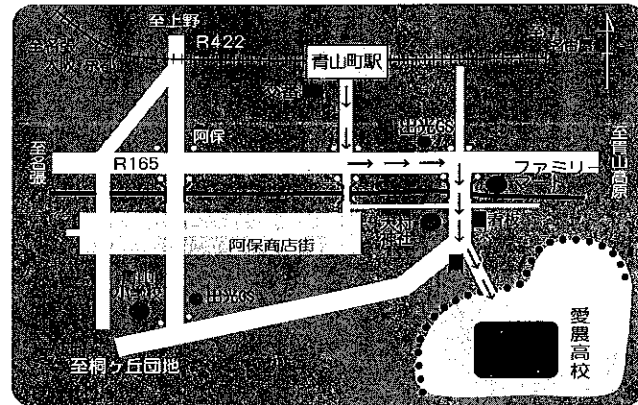
検索

フェイスブック、ブログもあるよ!!

体験入学も実施します。(詳細はHPでご覧下さい)

第1回 9月20日(金)~21日(土) 第2回 10月18日(金)~19日(土) 第3回 11月8日(金)~9日(土) 第4回 1月10日(金)~11日(土)

申込書は、ハガキに貼って郵送してください。FAXも可。
HP(ホームページ)からも申込みできます。(6月1日open)



■お問い合わせ・申込書送付先

愛農学園農業高等学校 生徒募集係

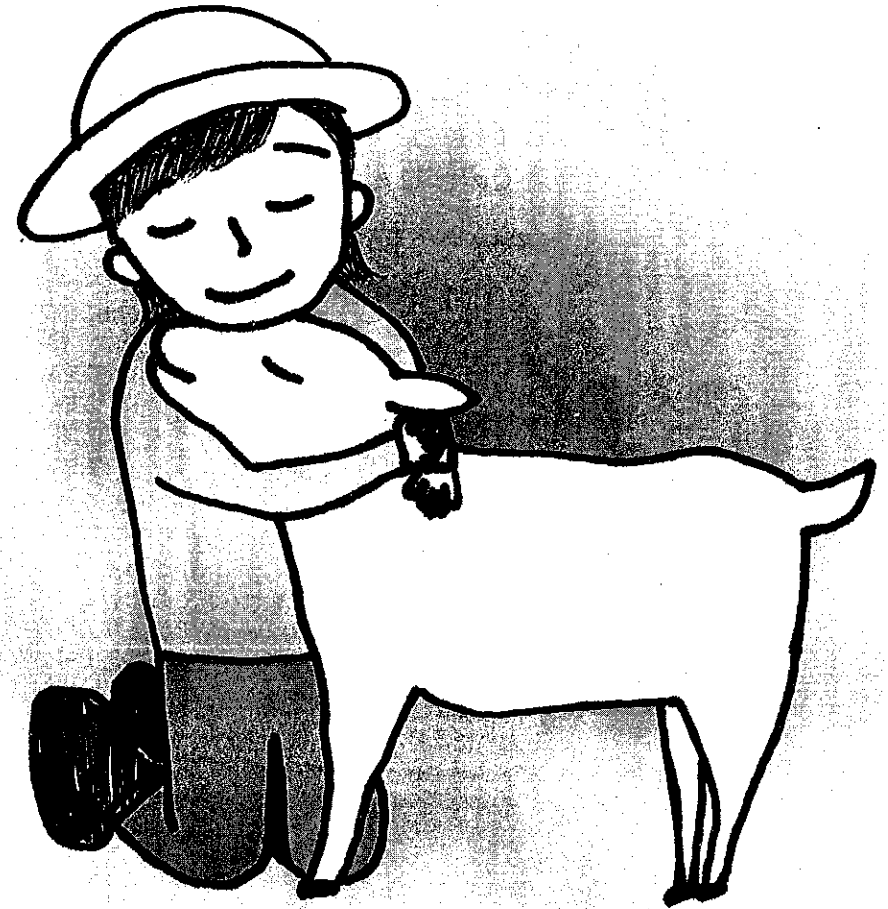
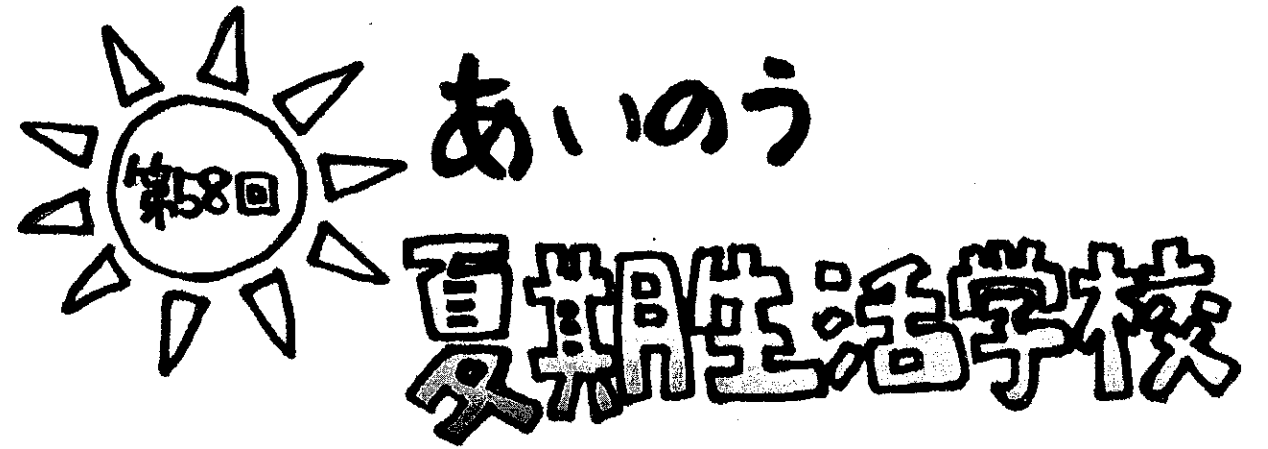
〒518-0221 三重県伊賀市別府690

TEL. 0595-52-0327

FAX. 0595-52-1428

URL <http://ainogakuen.ed.jp>

表紙イラスト: 3年 辻 はるか



いのち に ふれて みませんか?

2019年 7月25日(木)~27日(土)

第58回あいのう夏期生活学校への
参加を申し込みます

ふりがな
本人氏名

保護者氏名

〒
住所

TEL
FAX

学年 (男・女)

学校名 中学校



第58回

あいのう夏期生活学校

2019 7/25(木)~7/27(土)

あいのう夏期生活学校は、中学生のみなさんに農業体験を通して愛農高校を知っていただくための3日間の学校です。化学肥料や農薬を使用せずに作物・野菜を育て、愛情を込めて家畜の世話をしています。そんな愛農高校で、農場体験をしたり、食べ物や生命の大切さの話を聞いたり、学校農場で収穫した安全な素材中心の食事をみんないただきます。中学生のみなさん、農業、環境、自然について一緒に考えてみませんか？



農業を体験してみたい人！
食べ物や環境に関心がある人
自然が好きな人

あいのう夏期生活学校に参加して 有意義で充実した夏休みを過ごそう！

~中学生の皆さん、動植物とのふれあいの中でLifeについて考えてみよう~



「生活」を英語で表すとLifeですから、夏期生活学校は、Summer Life Schoolとなります。このLifeにはもう2つ大きな意味があります。その1つは生命、もう1つは人生という意味です。ですからLifeには、生命を与えられたものが日々の生活をいきいきと充実して生きる＝人生という深い意味があります。

人間は他の動植物の生命をいただいて自分の生命を養う他ないのです。他の生命をいただく以上、そこにはルールがあります。それは、食べ物への感謝と与えられた自分の生命を大切にするというルールです。この基本を学ぶのに最も適しているのが農業です。農を体験しながら全国から集まる参加者と友人になれる生活学校は、君の人生に大きなインパクトを与えてくれるでしょう。キャンプファイヤーなど楽しい行事もあります。

中学生の皆さん、あいのう夏期生活学校に参加して、日々の生活を充実させ、有意義な人生を送るヒントを得てください。お待ちしております。
(校長先生から)

命を学ぶ



食べ物、命の大切さについての講義

体験レポート①

三日間、好きな農業についてより多くのことを学ぶひとときとなりました。二日目と三日目は、朝に作物部と養鶏部を見て、直接ふれあう時間がありました。合鴨にエサをあげて、喜んでいる様子を見るのは初めてでした。今日の朝は鶏を見ましたが、その鶏は足がひとつありませんでした。それでも他の鶏のように外で遊ぶ姿は幸せそうに見えました。私が一番体験したかった果樹部に行き、スモモジャムを作ってパンケーキにつけて食べました。韓国に戻って、何が一番おいしかったかと尋ねられたら、私はスモモジャムが一番おいしかったと答えます。それから、思っていたよりも食事がとてもとてもおいしくて、ごはんの時間が幸せでした。様々な講話がありましたが、全てを聞き取ることができなかったのが残念です。韓国に戻ったらもっと一生懸命勉強します。三日間、先生方、先輩方本当にありがとうございました。
U. K



中学生とゲーム

命をはぐくみ



梅干し作り



田んぼの生き物観察

命とふれあい



ヤギとお散歩♡



豚「意外とカワイイ」

体験レポート②

私は、今回この夏期生活学校で生産者から見た世界をよく意識できたと思います。養鶏部に行って、初めて動物を自分の手で解体して食べるという体験をしました。少し前まで動いていた鶏が、自分が首を切ったとたん動かなくなっていくのを見て、改めて命をいただいているという実感が湧きました。いつもスーパーや肉屋で買っているものもこんなに大変な思いをしているのかも感じました。命をいただいている私達にできることは、残さず食べることや、感謝して食べることなどいっぱいあると思います。また、今回の体験では人と人のつながりも意識していました。集団で生活したり、農作業をするときは仲間と協力することで楽しくできると思いました。
私が今回学んだことは、自分がこの高校に入学してもしなくても、大切な経験になったと思います。この三日間のために準備してくださった先生や先輩方本当にありがとうございました。
A. K

命をいただく



トマトの収穫



にわとりの解体